

新内容項目対応版

■ 学習指導要領準拠 ■

[ゆたかな心—新しい道徳—] 指導資料

# 道徳の年間指導計画例

● 「『私たちの道徳』との関連」付き ●

5年

株式会社 光文書院

## 本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し、【評価の観点】としても活用できるよう記しました。
  - 心のあり方だけではなく、行動力の育成も視野に作成しています。
  - 総括的な「◎ねらい」をさらに分析し、具体的な「\*ねらい」によってわかりやすく示しました。
  - 具体的な「\*ねらい」は、
    - ・どのような感動を期待するか
    - ・どのような道徳的理解や判断力を期待するか
    - ・どのような自分のよさを期待するか
    - ・どのような生き方（実践意欲や態度）を期待するかという観点に基づいて表記しています。
  - 「\*ねらい」の表現方法も、評価の観点としての活用をふまえ「……心が動く」「……わかる」「……しようとする」「……課題をもつ」など、子どもの立場に立った表記をしています。
2. 「展開の概要」を多様化しました。
  - 道徳の授業は、さまざまな学習活動によって成り立っていますので、発問の乱発を避け、より具体的な授業展開を描くことができるよう、多様な活動を示しました。
  - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立ち、発問も子どもの違いによって変わるものとしてとらえ、授業構想を示しています。
  - 「展開の概要」をもとにして、「子どもの実態に即した発問」を工夫し授業を行うことを想定した展開になっています。
3. 「関連・連携」を強化しました。
  - 道徳教育は、道徳の時間を要として、学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに、家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて、関連や連携例に力を入れて示しました。
  - これを受けて、授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し、児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示しています。
4. 『ゆたかな心』と『私たちの道徳』のそれぞれの特長を生かして、より効果的に活用するための計画案を示しています。
  - 『私たちの道徳』と併用しやすい工夫を加えました。
  - 道徳授業を深める『ゆたかな心』と、それを広げる『私たちの道徳』の効果的な関連方法を表記する欄を設けました。
  - 『私たちの道徳』の読み物資料を計画例に加え『ゆたかな心』の資料と選択できるよう配慮しました。

※2016年度改訂版『私たちの道徳』で追加された新内容項目の資料との対応表です。必要に応じて、ご利用ください。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】真海のチャレンジ—佐藤真海—〔主題名／生きる喜びを感じて〕〈よりよく生きる喜び〉				
月				<p>【導入】P190・P191を活用して、自分が「弱いな」、「苦しいな」と思ったときのことを考えさせる。</p> <p>【発展】P192・P193を読んだり記入したりして、自らがよりよく生きるために大切にしたいことについて考え続けるようにさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

1. 帰ってきた、はやぶさ〔主題名／よりよい未来を創るもの〕〈真理の探究〉

4月	<p>◎進んで新しいものを求め、工夫し、真理を大切に人々が幸せな未来を築こうとする。</p> <p>*工夫してつくられた小惑星探査機「はやぶさ」の帰還が人々に感動を与えたことがわかる。</p> <p>*進んで新しいものを求め、工夫することは、人々の幸せな未来を創ることにつながるということがわかる。</p> <p>*進んで新しいものを求め、工夫してするだけでなく、「人々の幸せのため」という真理を大切に未来を創ろうとする意欲をもつ。</p>	<p>1 小惑星探査機「はやぶさ」と國中教授の写真を見て、知っていることを出し合う。</p> <p>2 資料『帰ってきた、はやぶさ』を読んで、進んで新しいものを求めることの価値について考える。</p> <p>3 イオンエンジン開発時の國中教授の思いについて考える。</p> <p>4 「未来は自分の手で創るものです」と言った國中教授の思いを考える。</p> <p>5 自分やクラスのみんなの幸せや喜びのためにできそうなことをワークシートにまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『帰ってきた、はやぶさ』を読んで、人々の幸せを大切に、進んで新たなものを求めることや、工夫することの大切さを学ぶ。〔本時〕</p> <p>②日常生活……学級や学校の活動や、自分のくらしの中で、工夫できることを見つけさせたり実際に行わせたりすることで、工夫することの良さを味わわせる。</p> <p>③読書活動……「エジソン」「ライト兄弟」「豊田佐吉」「松下幸之助」「本田宗一郎」等の新しい時代を切り拓いた人たちの伝記を読むことを勧める。</p>	<p>【終末】P42・P43を活用して、『帰ってきた、はやぶさ』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展】P44・P45を活用して、新しいものを求めた人たちを知り、考えたり工夫したりしようとする意欲をもたせる。</p>
----	--	--	---	---

【私たちの道徳】天からの手紙〔主題名／進んで新しいものを求めて〕〈真理の探究〉

4月				<p>【終末】P42・P43を活用して、『天からの手紙』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展】P44・P45を活用して、新しいものを求めた人たちを知り、考えたり工夫したりしようとする意欲をもたせる。</p>
----	--	--	--	---

2. 氷上の挑戦 —浅田真央—〔主題名／目標をもって努力する〕〈希望と勇氣、努力と強い意志〉

4月	<p>◎自分の夢や目標の実現のために、自分の持っている力を精いっぱい発揮して、最後まであきらめずに努力しようとする。</p> <p>*浅田選手がスケートが好きで、たくさん練習を積み重ねてきたことに感動する。</p> <p>*あきらめずにできないことをやり遂げようとする姿勢が、現在の浅田選手を支えていることがわかる。</p> <p>*自分も自分の夢に向かって、あきらめずに努力し続けようとする気持ちをもつ。</p>	<p>1 「浅田真央」選手について知っていることを発表し合う。</p> <p>2 資料『氷上の挑戦』を読み、浅田選手がどのようにして世界チャンピオンになれたのかを考える。</p> <p>3 自分が夢をかなえるためにどうしたらよいかを考え、発表し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『氷上の挑戦 —浅田真央—』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……図書室等で努力を重ねて目標を達成した人の話を探して読み、紹介し合わせる。</p>	<p>【展開後段・終末】P18・P19を活用して、『氷上の挑戦』で学んだことをもとに、自分の目標を見つめ、これからどのようにしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展①】P20を活用して、目標に向かって努力を重ねた人たちについて関心をもたせ、P21の自分が学びたい人物について調べまとめさせる。</p> <p>【発展②】P26・P27を読み、夢に向かって努力する大切さについて考えさせる。</p>
----	---	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】ヘレンと共に—アニー・サリバン—〔主題名／希望と勇気をもってくじけずに〕〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
4月				<p>【展開後段・終末】P18・P19を活用して、『ヘレンと共に』で学んだことをもとに、自分の目標を見つめ、これからどのようにしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展①】P20を活用して、目標に向かって努力を重ねた人たちについて関心をもたせ、P21の自分が学びたい人物について調べまとめさせる。</p> <p>【発展②】P26・P27を読み、夢に向かって努力する大切さについて考えさせる。</p>
3. 一枚の写真から〔主題名／広がる心 深まる心〕〈生命の尊さ〉				
4月	<p>◎生命のかけがえのなさを自覚し、自他の生命を尊重して生きようとする。</p> <p>*自分の成長を確認することによって、生きていることの意味がわかる。</p> <p>*以前の自分に比べて今の自分がどれほど成長しているかが大切であることがわかる。</p> <p>*希望をもって自分の生活を送り、他の生命も大切にしようとする。</p>	<p>1 「生きているしょうこ」について考える。</p> <p>2 資料『一枚の写真から』を読み、「生きているしょうこ」について考える。</p> <p>3 自分の小さいころの写真と今の写真を用意し、その間の変化を考えてまとめる。</p> <p>4 保護者からの手紙を読む。</p>	<p>①道徳の授業……資料『一枚の写真から』を読み、自他の生命の尊さについて考えさせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……学習したことをもとに、「生きているしょうこ」をさがす活動を行い、その結果をまとめて掲示させる。</p>	<p>【導入前】P102を活用し、家族に取材させる。</p> <p>【導入】P98を活用し、自分の命について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P103を活用し、自分の成長をまとめさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を活用し、『一枚の写真から』で学んだことをもとに、生命についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P108・P109『命でんご』を活用して、「生命」についての考えを広げさせる。</p>
【私たちの道徳】その思いを受けついで〔主題名／自他の生命を尊重して〕〈生命の尊さ〉				
4月				<p>【導入前】P102を活用し、家族に取材させる。</p> <p>【導入】P98を活用し、自分の命について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P103を活用し、自分の成長をまとめさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を活用し、『その思いを受けついで』で学んだことをもとに、生命についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P108・P109『命でんご』を活用して、「生命」についての考えを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
4. ひみつのトレーニング【主題名／心のはじめ】〈節度、節制〉				
5月	<p>◎生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がける。</p> <p>*自分の思いのままに行動していると、ものがうまくできないことに気づく。</p> <p>*適度に「心のはじめ」のように、ほどよく自分をコントロールすることによって、自分の力が発揮できることがわかる。</p> <p>*自分の生活の中で、適度に心のはじめを生活することがらを見つけようとする。</p>	<p>1 『ひみつのトレーニング』という資料名から連想することを話し合う。</p> <p>2 どんなトレーニングなのか問題意識をもちながら、資料『ひみつのトレーニング』を読み、話し合う。</p> <p>3 自分たちの生活を振り返り、「心のはじめをしめる」ことがないかを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ひみつのトレーニング』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動など……今の生活を振り返り、「わたしの課題」を考えさせる。自分の決めた「わたしの課題」を実行し、振り返らせる。</p>	<p>【展開後段・終末】P10～P16を活用して、『ひみつのトレーニング』で学んだことをもとに、節度ある生活ができるようになるにはどうしたらよいか考えさせる。</p>
5. すてきなおりもの【主題名／思いやりを受けつぐ】〈親切、思いやり〉				
5月	<p>◎だれに対しても、相手の身になって思いやり、親切にしようとする。</p> <p>*相手の身になって考え行動することのすばらしさに感動することができる。</p> <p>*困っている人の気持ちを理解することができる。</p> <p>*自分の損得や見返りを期待しないところにほんとうの思いやりがあり、互いに助け合うことで人は生かされていることがわかる。</p> <p>*他者の親切によって感じた喜びや感謝の気持ちを、自分も行為を通して引き継いでいこうとする。</p>	<p>1 「すてきなおりもの」とは何か、自分だったらどんなおりものをすてきだと思えるかを発表する。</p> <p>2 資料『すてきなおりもの』を読んで、「すてきなおりもの」について考えたことを話し合う。</p> <p>3 「助けるとは、……喜びを引きついでいくこと」という意味を考える。</p> <p>4 身近なところにある「すてきなおりもの」について考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『すてきなおりもの』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……思いやりを受け止めたり伝えたりしたことを、帰りの会で発表させたり、学級日誌などに記録させたりする。</p> <p>③総合的な学習の時間……幼児や高齢者との交流の機会に、思いやりや感謝の気持ちを伝えさせる。</p>	<p>【導入】P60・P61を活用し、「思いやり」について考えさせる。</p> <p>【終末】P62・P63を活用し、『すてきなおりもの』で学んだことをもとに、思いやりの心の伝え方について考えたことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P65を活用し、思いやりに関する記録をまとめさせる。</p>
【私たちの道徳】最後のおくり物【主題名／相手の立場に立って親切に】〈親切、思いやり〉				
5月				<p>【導入】P60・P61を活用し、「思いやり」について考えさせる。</p> <p>【終末】P62・P63を活用し、『最後のおくり物』で学んだことをもとに、思いやりの心の伝え方について考えたことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P65を活用し、思いやりに関する記録をまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
6. 母の仕事【主題名／働くことの意義】〈勤労、公共の精神〉				
5月	<p>◎働くことの意義を理解するとともに、人々のために役立つ仕事をしようとする。</p> <p>* 勤労は自分の生活のためだけでなく、社会生活を支えるものであることを理解する。</p> <p>* 人のために働くことで得られる喜びや成長があることを知る。</p> <p>* 自分にできることは何かを考え、社会に奉仕し、公共のために役に立とうとする。</p>	<p>1 いろいろな職業について話し合う。</p> <p>2 資料『母の仕事』を読んで、自分の仕事に対する考えとお母さんの考え方の違いについて話し合う。</p> <p>3 働くことの意義についてまとめる。</p> <p>4 自分の経験を思い起こし、働くことで自分が喜びを感じたようすを話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『母の仕事』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②総合的な学習の時間……将来、就きたい職業について調べ、話し合わせる。</p> <p>③特別活動……自分たちの係活動や委員会活動などを見直させる。</p> <p>④日常生活……家庭での役割をふり返り、自分にできることを考えさせる。</p>	<p>【終末】 P152 を活用し、『母の仕事』で学んだことをもとに、勤労の意義について考えさせる。</p> <p>【発展】 P153 を活用し、『母の仕事』で学んだことをもとに、自分がなりたい職業をまとめさせる。</p>

7. チャイさんのマンゴー【主題名／誠実に生きる】〈正直、誠実〉

5月	<p>◎いつも誠実に行動し、明るく楽しい生活をしようとする。</p> <p>* 誠実な生き方をしている人との出会いによって、「自分もこうありたい」と願う気持ちをもつことができる。</p> <p>* 誠意をもって行動することが、よりよい人間関係を築くための基盤であることを理解する。</p> <p>* 自分の心を偽ることなく、素直な気持ちで生活しようとする。</p>	<p>1 資料『チャイさんのマンゴー』を読んで、語り手の「わたし」のマンゴーにまつわる思い出を知る。</p> <p>2 「わたし」が忘れられないチャイさんと、その行動について考える。</p> <p>3 チャイさんとの出会いで「わたし」の心に何が残ったのかを考える。</p> <p>4 自分の身近にチャイさんのような人はいないかを考えてみる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『チャイさんのマンゴー』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②総合的な学習の時間……「誠実に生きる」を実践した人物の伝記やエピソード、またはそのような人物に出会った自分の体験などを紹介する文集や新聞作りを行わせる。</p>	<p>【終末】 P39・P41 を活用して、『チャイさんのマンゴー』で学んだことをもとに、誠実な心をもつためには、どのようにしたらよいか考えさせる。</p>
----	--	--	--	--

8. 助け合い傘【主題名／みんなのために】〈感謝〉

6月	<p>◎自分は多くの人に支えられて生きていることがわかり、それに感謝し、応えようとする。</p> <p>* 人は周囲の人に支えられて生活していることがわかり、その心に共感する。</p> <p>* 自分も周囲の人に支えられて生きていることがわかる。</p> <p>* 人のためになる、自分にもできそうなことを考え、実践への意欲をもつ。</p>	<p>1 いろいろな人が「みんなのために」していることにはどんなことがあるか発表し合う。</p> <p>2 資料『助け合い傘』を読み、楠井さんの行動について考える。</p> <p>3 自分たちが「みんなのために」できることにはどんなことがあるか考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『助け合い傘』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……自分を支えてくれる人の存在に気づかせ、感謝の思いを伝えさせる。</p> <p>③日常生活……家庭や地域の中で、自分ができていることを考えて話し合い、実際に活動させてみる。</p>	<p>【導入】 P88 を活用し、支えてくれる人がいるくらいと、感謝の伝え方について考える。</p> <p>【終末】 P88・P90 を活用し、『助け合い傘』で学んだことをもとに、感謝の心についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】 P91 を活用し、支えてくれる人への感謝の思いに応えるために何ができるか考えさせる。</p>
----	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】黄熱病とのたたかい〔主題名／支え合いや助け合いに感謝して〕〈感謝〉				
6月				<p>【導入】P88を活用し、支えてくれる人がいるくらしと、感謝の伝え方について考える。</p> <p>【終末】P88・P90を活用し、『黄熱病とのたたかい』で学んだことをもとに、感謝の心についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P91を活用し、支えてくれる人への感謝の思いに応えるために何ができるか考えさせる。</p>
9. ガンジーのいかり〔主題名／正義をつらぬいた人〕〈公正、公平、社会正義〉				
6月	<p>◎だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正・公平に接し、正義の実現に努めようとする。</p> <p>*人はだれであっても一人の人間として尊重されるものであり、差別や偏見によって人権を奪われないものであることを知る。</p> <p>*自分にも差別や偏見に対して怒りを感じる心や、それを正していこうとする心があることを確かめる。</p> <p>*自分には何ができるかを問いかげながら、だれにでも公正・公平に接し、正義の実現に向けて努力しようとする。</p>	<p>1 自分がこれまでに聞きしてきた偏見や差別と、そのことに対する自分の気持ちや考えについて紹介し合う。</p> <p>2 資料『ガンジーのいかり』を読み、ガンジーがどのようなことに対して怒りを感じたのかを考える。</p> <p>3 ガンジーの訴えが人々の心をとらえるまで、ガンジーはどのような気持ちだったかについて話し合う。</p> <p>4 ガンジーの生き方から自分は、どのような生き方をしていきたいかを考える。</p>	<p>①日常生活……新聞記事などから、差別や偏見に立ち向かう人々の活動を集めさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『ガンジーのいかり』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③課外や家庭……差別や偏見をなくすために努力している人々の活動を調べさせる。</p>	<p>【導入】P132を活用し、一人一人の人権についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P133を活用し、『ガンジーのいかり』で学んだことをもとに、人権について考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P134・P135を活用し、いじめなどの問題についても関心をもたせ、自分たちの言動を見つめ直させる。</p>
【私たちの道徳】愛の日記〔主題名／公正、公平な態度で〕〈公正、公平、社会正義〉				
6月				<p>【導入】P132を活用し、一人一人の人権についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P133を活用し、『愛の日記』で学んだことをもとに、人権について考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P134・P135を活用し、いじめなどの問題についても関心をもたせ、自分たちの言動を見つめ直させる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
10. 日本の心とかたち ―真・行・草―〔主題名／心を表すおじぎ〕(礼儀)				
6 月	<p>◎時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p> <p>*場に応じたおじぎのしかたがあることを知る。</p> <p>*かたちだけでなく、心がこもっていることで相手に真心が伝わるのがわかる。</p> <p>*日常生活で心とかたちが一つになったおじぎをしてみたいという意欲をもつ。</p> <p>*「真・行・草」の由来を知って、すばらしいと思い、もっと日本に伝わる礼儀作法やそれが生まれた背景を知ろうとする気持ちをもつ。</p>	<p>1 日常生活でどんなあいさつをしているかを発表し合う。</p> <p>2 自分たちのあいさつと美智子さんのあいさつとの違いを考える。</p> <p>3 美智子さんのおじぎのしかたが相手によって違っていたのはなぜかを話し合う。</p> <p>4 男の子のお母さんがおだやかに別れていったのはなぜかを話し合う。</p> <p>5 1で発表し合った日常のあいさつ場面を想起し、おじぎを使い分けて、双方の気持ちの違いについて発表し合う。</p> <p>6 気持ちと「かたち」を考えて、事前に記入したワークシートの「時と場に応じた言葉遣いと態度がある」を見直す。</p>	<p>①朝の会……………朝の会で教師から「時と場に応じた言葉遣いと態度がある」を聞いて、時と場に応じた言葉遣いについても考え、ワークシートに記入させる。</p> <p>②道徳の授業……資料『日本の心とかたち 真・行・草―』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……………日常生活でも意識してあいさつやおじぎを使い分けるようにする。朝の会や帰りの会などで上手にできている人を紹介し合わせる。</p> <p>④家庭……………日本の礼儀について、家庭でも話し合わせる。</p>	<p>【導入】P56を活用し、あいさつについて考えさせる。</p> <p>【終末】P57を活用し、『日本の心とかたち』で学んだことをもとに礼儀について考えたことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P58・P59を活用し、日本の伝統的な礼儀に込められた心についての学びを広げさせる。</p>
11. ホペイロのヤマさん〔主題名／チームを支える力〕(よりよい学校生活、集団生活の充実)				
6 月	<p>◎身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>*集団の中には様々な役割があり、どの役割も重要だということがわかる。</p> <p>*自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことが自己実現につながるということがわかる。</p> <p>*自分の所属する集団に進んで参加し、協力して主体的に責任を果たそうとする。</p>	<p>1 ホペイロという仕事があることを知る。</p> <p>2 資料『ホペイロのヤマさん』を読んで話し合う。</p> <p>3 集団の中で自分の役割を自覚し、自分にできることを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ホペイロのヤマさん』を読んで、集団の役割と責任について考えさせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……………係や委員会活動における自分の役割を再確認させ、主体的に責任を果たさせる。また責任を果たしている友だちを見つけ紹介し合う活動を仕組む。</p> <p>③読書活動など…表舞台には立たず、縁の下で活躍する職業を調べ紹介し合う活動を仕組む。</p>	<p>【導入】P140を活用し、一人一人の役割と責任についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P144・P145を活用し、『ホペイロのヤマさん』で学んだことをもとに、役割と責任について考えを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

### 重点主題

- 12 まかせてみようよ
- 13 みんなの劇

### ▶ 重点主題名／支え合う仲間〔相互理解と支え合い〕

#### 【重点主題のねらい】

##### ◎相手の立場を理解し、支え合う態度を身につける。

- \*個人が支え合う集団となるためには、自分の役割を自覚して、それを実行することが大切であることがわかり、自身も集団生活の中で実践していこうとする。
- \*一人一人に目を向け、短所だと思えることでもよく見てみたり、自分のものの見方を変えて見てみたりすることによって、相手の理解が深まることになる。
- \*仲間の悩みを知り、励まし合うことによって、互いに高め合う関係を強くしていくことが、支え合う仲間づくりには大切であることを知る。
- \*宿泊学習や学級の行事などで仲間とともに学んだものをはっきりとつかみ、それが、自分の人間的成長にとって大切なものであったことを実感する。またそれを、明日からの生活に生かしていこうとする。

#### 12. まかせてみようよ【主題名／仲間を信じて】（友情、信頼 / よりよい学校生活、集団生活の充実）

7月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○友達の良いところをわかり合い、生かし合うことによって、集団生活がうまく進むことがわかる。また、集団の目標のためにそれぞれが自分の役割を果たしていくことが大切であることがわかる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 もうすぐ宿泊学習があることを確かめ、自分のめあてを確かめる。</li> <li>2 資料『まかせてみようよ』を読んで、話し合う。</li> <li>3 この話からわかったことを話し合う。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>「たかし」は、宿泊学習の班のリーダーである。同じ班には自分の思いを口にするのが苦手な地図係の石井さんがいる。途中、オリエンテーリングのコース取りでもめ合うが、石井さんの意見にはしっかりと理由があることを知った「たかし」は、リーダーとしてみんなに石井さんへの理解を促す。石井さんは地図係としての自分の役割をしっかりと果たし、班は1位でゴールした。</p>	<p>【導入】P72・P73 を活用し、友達や仲間とは何か、考えさせる。</p> <p>【終末】P142・P143 を活用し、『まかせてみようよ』で学んだことをもとに、集団における自分の役割を見つめ直させる。</p>
----	---	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
13. みんなの劇【主題名／みんなで創る】〈友情，信頼 / よりよい学校生活，集団生活の充実〉				
7 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○仲間の悩みを知って励まし，互いに高め合う関係を強くしていくことが，支え合う仲間づくりには大切であることがわかる。</p>	<p>1 体験活動から支え合える仲間づくりのために，取り組んできたことをふり返る。</p> <p>2 資料『みんなの劇』を読んで，話し合う。</p> <p>3 この話から感じられたことや思ったことを自分の取り組みや暮らしぶりと重ねて紹介する。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>「たかし」の5年3組は，学習発表会で劇をすることになった。一人一人がそれぞれに役割をもって練習を始めるが，青山さんのごちない演技にみんなの不安が募る。そんなときに青山さんに手を差し伸べたのが石井さんである。一人の課題を仲間と支え合いながら乗り越えることを知った学級の仲間は，力を合わせて劇をつくるようになっていく。</p>	<p>【導入】P142・P143 に整理したことをもとに，一人一人の役割と責任についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P72・P73 を活用し，『みんなの劇』で学んだことをもとに，友達や仲間とは何か，もう一度考えさせる。</p>
【私たちの道徳】知らない間の出来事【主題名／たがいに信頼し，学び合って】〈友情，信頼〉				
7 月				<p>【導入】P72・P73 を活用し，友達や仲間とは何か，考えさせる。</p> <p>【終末】P72・P73 を活用し，『知らない間の出来事』で学んだことをもとに，友達や仲間とは何か，もう一度考えさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

14. 「スイミー作戦」「ガンジー作戦」【主題名/いじめに負けないために】〈公正, 公平, 社会正義〉

9 月	<p>◎だれに対しても差別することや偏見をもつことなく公正・公平に接しようとする気持ちをもつ。</p> <p>*「あだ名」が人によっては、いやな気持ちになることに気づく。</p> <p>*「いやなことは相手に伝える」ことが大切だとわかる。</p> <p>*「いじめ」をなくすにはどうしたらよいかを考えることを通して、差別したり偏見をもったりせずに友達と接しようとする。</p>	<p>1 ワークシートに「いけない指数」を記入し、グループで指数の違いについて話し合う。</p> <p>2 資料『「スイミー作戦」「ガンジー作戦」』を読んで、「いじめ」について話し合う。</p> <p>3 「いじめ」や差別・偏見をなくすためには、どうしたらよいかを話し合う。</p> <p>4 学習したことから考えたこと・感じたことをまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『「スイミー作戦」「ガンジー作戦」』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……「いじめ」のないクラスにするにはどうしたらよいかを話し合わせる。</p> <p>③日常生活……『スイミー』を読み直したり、「ガンジー」について調べさせたりする。</p>	<p>【導入】P132を活用し、一人一人の人権についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P134・P135を活用し、『「スイミー作戦」「ガンジー作戦」』で学んだことをもとに、いじめなどの問題についても関心をもたせ、自分たちの言動を見つめ直させる。</p>
--------	--	--	--	---

【私たちの道徳】愛の日記【主題名/公正, 公平な態度で】〈公正, 公平, 社会正義〉

9 月				<p>【導入】P132を活用し、一人一人の人権についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P134・P135を活用し、『愛の日記』で学んだことをもとに、いじめなどの問題についても関心をもたせ、自分たちの言動を見つめ直させる。</p>
--------	--	--	--	---

15. 弘君の委員会活動【主題名/だれかの役に立つこと】〈勤労, 公共の精神〉

9 月	<p>◎働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立とうとする。</p> <p>*働くことによって、人の役に立ったという喜びを感じる心が自分の心に存在することがわかる。そして、人の役に立ちたいという心は自分の心にもあることを知る。</p> <p>*他者のために何とかしたいとする気持ちは、社会の役に立とうとする心であることを知り、働くという意味がわかる。</p> <p>*社会に役立とうとして働くことが、自分の成長にもつながることだと知り、実践を日々積み重ねようとする。</p>	<p>1 自分たちが取り組んでいる委員会活動について話し合う。</p> <p>2 資料『弘君の委員会活動』を読んで、「働くこと」について考える。</p> <p>3 「みんなの役に立ったこと」について、見たことや自分のことについて紹介し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『弘君の委員会活動』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……帰りの会などで、係活動・委員会活動・学校行事などで自分や友達のやってよかったと思えるできごとを紹介させる。</p>	<p>【終末】P150・P151を活用し、『弘君の委員会活動』で学んだことをもとに、集団の中での役割と責任について考えさせる。</p> <p>【発展】P142・P143を活用し、集団の中での役割をまとめさせる。</p>
--------	---	--	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

16. 学級新聞作り〔主題名／広い心をもって〕〈相互理解，寛容〉

9月	<p>◎広い心をもち、自分と異なる考えを謙虚に聞き、お互いの立場を大切にしようとする。</p> <p>*相手の考えには、自分の考えにないよさがあることに気づく。</p> <p>*相手の考えに耳を傾け、それを聞き入れようとする心の大切さがわかる。</p> <p>*自分も広い心をもち、異なる意見や立場を大切にしようとする。</p>	<p>1 友達と意見がくい違った体験を話し合う。</p> <p>2 資料『学級新聞作り』を読んで、「わたし」の気持ちの変化を考える。</p> <p>3 相手に対してどのように接したらよいか、自分の考えをまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『学級新聞作り』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②授業や学級活動など……話し合いなどでは、お互いの意見を謙虚に聞き合うように指導する。</p>	<p>【終末】P80・P81を活用し、『学級新聞作り』で学んだことをもとに、心のもち方についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P82・P83を活用し、『ああ無情』に関心をもたせる。</p>
----	--	--	--	--

【私たちの道徳】ブランコ乗りとピエロ〔主題名／けんきょに、広い心をもって〕〈相互理解，寛容〉

9月				<p>【終末】P80・P81を活用し、『ブランコ乗りとピエロ』で学んだことをもとに、心のもち方についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P82・P83を活用し、『ああ無情』に関心をもたせる。</p>
----	--	--	--	--

17. 世界の文化遺産〔主題名／日本の文化遺産〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉

9月	<p>◎日本の文化遺産に興味をもつとともに、その文化的価値を考え、わが国の文化を大切にしていこうとする。</p> <p>*世界の文化遺産に登録された日本の文化遺産にはどんなものがあるかがわかる。</p> <p>*文化遺産の価値や、それを先人が守り育ててきたことがわかる。</p> <p>*日本や郷土の文化に興味をもち、それを大切にしていこうとする。</p>	<p>1 世界の文化遺産について友達の発表を聞いて話し合う。</p> <p>2 資料『世界の文化遺産』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自然とともに生きてきた日本人の心が表れている文化はほかにないかについて話し合う。</p> <p>4 今日の授業で、自分は何を学んだかについてまとめ、今後の活動について話し合う。</p>	<p>①朝の会や帰りの会……世界の文化遺産を紹介させたり、背面黒板に資料を掲示させたりして世界の文化遺産への興味関心を喚起する。</p> <p>②日常生活……興味のある児童数人に依頼して、世界の文化遺産について調べさせ、発表ができるように準備させておく。</p> <p>③道徳の授業……資料『世界の文化遺産』を中心に話し合わせる。〔本時〕</p> <p>④総合的な学習の時間……日本の文化や郷土の文化について調べさせ、その結果を背面黒板や掲示板に発表させる。</p>	<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統や文化について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用し、『世界の文化遺産』で学んだことをもとに、日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p> <p>【発展】P174・P175を活用し、国家や社会の一員としての自覚をもたせる。</p>
----	--	---	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】人間をつくる道—剣道—〔主題名／郷土や国を愛する心を〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉				
9月				<p>【導入】P164・P165を活用し，日本の伝統や文化について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用し，『人間をつくる道』で学んだことをもとに，日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p> <p>【発展】P174・P175を活用し，国家や社会の一員としての自覚をもたせる。</p>

18. いっしょに何をしようかな〔主題名／日本の紹介〕〈国際理解，国際親善〉

10月	<p>◎外国の人々や文化を大切にすることをもち，日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努めようとする。</p> <p>*進とスミスさん一家の家族ぐるみのつきあいを通して，外国の人とのかかわりを身近なものとして考えることができる。</p> <p>*日本を紹介する「お寺めぐり」や「太巻きずし作り」をヒントに，日本のよさについて自分なりの考えをもつことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 進がなぜ困っているのかを考えながら資料文を読む。</li> <li>2 お父さんやお母さんが考えたこととその理由について話し合う。</li> <li>3 進と由紀子はどのようなことをしたらよいかを考える。</li> <li>4 実際に外国の方に日本らしいところを紹介するプランを立てる。</li> <li>5 自分たちが考えたプランをその理由とともに紹介し合う。</li> <li>6 友達の発表を聞いて考えたこと，気づいたことをまとめる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①読書活動など…世界や日本を知る図書を紹介して貸し出したり，読書タイム等で読ませたりする。</li> <li>②道徳の授業……資料『17 世界の文化遺産』の学習内容も活用し，外国の人とのかかわりを前向きに考えさせる。 〔本時〕</li> <li>③日常生活……「外国に行ったら，どのような日本のよさを紹介するか」を考えて，海外ニュースや日本の自然や伝統のテレビ番組等に親しませるようにする。</li> </ol>	<p>【発展】P176～P179を活用し，世界の人たちとかがわろうとする気持ちをもたせる。</p>
-----	---	--	---	---

【私たちの道徳】ペルーは泣いている〔主題名／世界の人々とつながって〕〈国際理解，国際親善〉

10月				<p>【発展】P176～P179を活用し，世界の人たちとかがわろうとする気持ちをもたせる。</p>
-----	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
19. 短所も長所【主題名／自分らしさを発揮して】〈個性の伸長〉				
10月	<p>◎自分の特徴を知り、悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばしていこうとする。</p> <p>*ものごとや人にはいろいろな見方があり、観点を変えれば、短所も長所になることがわかる。</p> <p>*友達が見つめてくれた自分のよさに気づき、自分の中のすばらしい力を発見したり変えたいところを見つめ直したりしようとする。</p> <p>*自分の特徴を知り、それを磨き、長所として伸ばしていこうとする。</p>	<p>1 ガラスのコップと紙のコップを比べ、それぞれのよいところと悪いところについて話し合う。</p> <p>2 資料『短所も長所』を読んで、話し合う。</p> <p>3 「短所も長所」という言葉について考える。</p> <p>4 「人物紹介カード」を書き、交換する。交換したカードを読み、自分を見つめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『短所も長所』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……「人物紹介カード」をもとに自分の目&gt;をまとめさせる。</p> <p>③帰りの会など…友達のいいところを認め合う時間をとり、自分の長所に自信をもたせる。</p>	<p>【展開後段・終末】P50・P51を活用して、『短所も長所』で学んだことをもとに、自分の長所を見つけさせる。P52・P53を活用して、自分を輝かせるには、これからどのようにしたらよいか考えさせる。</p>
20. ミレーとルソー【主題名／ほんとうの友情】〈友情、信頼〉				
10月	<p>◎相手の立場や気持ちを理解し、互いに信頼し合い高め合うことがほんとうの友情であることを知り、友情を深めていこうとする。</p> <p>*仲がよいという友達関係だけでなく、相手の立場や思いを理解し、相手のために自分ができることを考え行動する、という友情の在り方を知り、その思いに感動する。</p> <p>*相手の立場や心情を理解し、互いに協力し尊敬し合える関係が築けたとき、信頼関係が成り立つことがわかる。</p> <p>*自分の心の中にもほんとうの友情を求める心があることに気づく。</p> <p>*お互いを認め合い、信頼し合える友達をつくっていこうとする。</p>	<p>1 自分が思っている友情と「ミレーとルソーの友情」との異同を考えながら資料を読む。</p> <p>2 資料『ミレーとルソー』を読み、「友情」について考えを深める。</p> <p>3 友達に助けられた体験や、また友達でそういう行動をとっていた人について話し合う。</p> <p>4 教師の説話から、友情の話聞く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ミレーとルソー』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「これが真の友情」と思ったことを、本や自分の周囲の人からさがして、日記などに書きとめておく。それを学級通信などで広めさせる。</p> <p>③朝の会、帰りの会……継続的に互いのよさを認め合う場を設定する。</p>	<p>【導入】P70・P71を活用し、人との出会いについて考えさせる。</p> <p>【終末】P72・P73を活用し、『ミレーとルソー』で学んだことをもとに、友達について考えたことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P74を活用し、友達との付き合い方について大切だと思うことをまとめさせる。</p>
【私たちの道徳】知らない間の出来事【主題名／たがいに信頼し、学び合って】〈友情、信頼〉				
10月				<p>【導入】P70・P71を活用し、人との出会いについて考えさせる。</p> <p>【終末】P72・P73を活用し、『知らない間の出来事』で学んだことをもとに、友達について考えたことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P74を活用し、友達との付き合い方について大切だと思うことをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
21. 家族の紹介【主題名／家族の紹介】（家族愛，家庭生活の充実）				
10月	<p>◎父母，祖父母を敬愛し，家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをしようとする。</p> <p>*自分の家族のことをよく知っている人の話を聞いてすばらしいと思う。</p> <p>*家族について知らないところがあることに気づき，もっと知りたいという気持ちをもつ。</p> <p>*家族について調べたり，聞いたりする活動から，家族に対する愛着や敬愛の心をもつ。</p>	<p>1 資料『家族の紹介』を読んで，「ぼく」の気持ちについて話し合う。</p> <p>2 自分の家族について知っていることをグループで紹介し合う。</p> <p>3 友達に紹介するときに，家族についてよく知らなかったことはなかったかを発表し合う。</p> <p>4 「先生 知ってるつもりビンゴゲーム」をして，「家族 知ってるつもりビンゴゲーム」のやり方を知る。</p> <p>5 次の時間に，「家族 知ってるつもりビンゴゲーム」をして考えたことを発表し合うことを予告する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『家族の紹介』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②家庭で……「家族 知ってるつもりビンゴゲーム」を行い，感想を家族と話し合わせる。</p> <p>③学級活動など…家族へのインタビューから，「家族新聞」を作らせる。</p>	<p>【終末】 P156・P157 を活用し，『家族の紹介』で学んだことをもとに，自分の家族について見つめ直させる。</p> <p>【発展】 P158・P159 を活用し，『家族の紹介』で学んだことをもとに，自分の家族へのメッセージを書かせる。</p>
22. 星が光った【主題名／人間の力をこえたもの】（感動，畏敬の念）				
11月	<p>◎人間の力を超えたものの存在に気づき，畏敬の念をもつ。</p> <p>*人間の力を超えたものに気づき，心を動かす。</p> <p>*人間の力を超えたものの大きさや不思議さを感じ取る。</p> <p>*人間の力を超えたものに対して畏れ敬う心をもつ。</p>	<p>1 「45億年を1週間に縮めると」という設定について考える。</p> <p>2 資料『星が光った』を読んだ感想を話し合う。</p> <p>3 「畏敬の念」という言葉について考える。</p> <p>4 人間の力を超えたものを探す。</p>	<p>①道徳の授業……資料『星が光った』を読み，大きな力の存在に気づかせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……理科で学習したことや読んだ本の中から，人間の力を超えたものの話題を探して発表させる。</p> <p>③家庭との連携…子どもたちの作品を学級通信やホームページなどで紹介させる。</p>	<p>【終末】 P114・P115 を活用し，『星が光った』で学んだことをもとに，人間の力を超えたものについて考えさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

### 重点主題

- 23 やめることはできない —ユニセフ親善大使 黒柳徹子—  
 24 助け合う気持ち —ボランティア元年—  
 25 ちひろの思い

▶ 重点主題名／わたしにできること  
 【集団や社会の一員として】

### 【重点主題のねらい】

◎社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役立つことをしていこうとする。

- \* 規模の大きなボランティアであっても、その根底にはいてもたってもいられない心があり、その心に感動できる。その心は自分にもあることがわかる。
- \* 「思いやりの心」と「助け合いの心」によって社会を支えていこうとすることが大切であることを知る。
- \* 社会の役に立つために自分にできることを見つめ、実際に進めていこうとする。

23. やめることはできない —ユニセフ親善大使 黒柳徹子— 【主題名／わたしをつき動かすもの】〈よりよい学校生活、集団生活の充実 / 公正、公平、社会正義〉

11月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「いてもたってもいられない心」は自分にもあることに気づく。</li> <li>○世界に、不幸な人々がいることを知れば、「いてもたってもいられない心」をもつことができることを知り、感動する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界には困っている子どもがいることを知る（知っている情報を発表する）。</li> <li>2 資料『やめることはできない』の前半（P97・3行目まで）を読んで、話し合う。</li> <li>3 後半を読んで、話し合う。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>この資料は、黒柳さんの海外でのスケールの大きな活動を紹介している。なぜ長きにわたってこの仕事をみずから続けてきたのか、その行動を支える心に目を向けさせたい。そこには、いてもたってもいられない心がある。大きな活動であっても自分にも同じような心があることに気づかせることが大切である。またここでは、この仕事をさせてもらっていることに感謝している黒柳さんの心もちもとらえさせていきたい。</p>	<p>【導入】P140 を活用し、一人一人の役割と責任についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P144・P145 を活用し、『やめることはできない』で学んだことをもとに、役割と責任について考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P136～P139 を活用し、『やめることはできない』とつながる心について考えを広げさせる。</p>
-----	--	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
24. 助け合う気持ち ―ボランティア元年―【主題名／いてもたってもいられない思い】〈よりよい学校生活, 集団生活の充実 / 親切, 思いやり〉				
11月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○いてもたってもいられない思いは、多くの人々がもっていることがわかる。</p> <p>○自分も、その心をもっていると思うようになる。</p> <p>○いてもたってもいられないで行動した人々のすばらしさに感動する。</p>	<p>1 阪神淡路大震災におけるボランティアについて知る（アンケート結果まで読む）。</p> <p>2 資料『助け合う気持ち』を読み、ボランティアにかけつけた人の体験談を読んで、話し合う。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>この資料は、阪神淡路大震災がきっかけとなって若者の社会奉仕の心が形に表れた事例を紹介している。活動に参加した若者の声を通して、ボランティアの心が自分にもあることを見つけるとともに、活動の実際では、自分の役に立ちたいという思いだけでは、相手に喜んでもらえないこと、相手をよく見て相手の立場になって考えることからボランティアが始まることを学ぶことができる。</p>	<p>【導入】P154 を活用し、ボランティア活動についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P155 を活用し、『助け合う気持ち』で学んだことをもとに、自分のできるボランティア活動について考えさせる。</p>
25. ちひろの思い【主題名／わたしにできること】〈よりよい学校生活, 集団生活の充実 / 親切, 思いやり〉				
11月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役立つことをしていこうとする。</p>	<p>1 前の2つの資料を通して学んだことを紹介し合う。</p> <p>2 資料『ちひろの思い』を読んで、話し合う。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>この資料は、前の2資料を読んだちひろたちが、ごく近い社会に積極的にかかわって、公共社会に役立つことに満足感を得ていくようすを身近なできごとを通して示している。この資料にふれることが、自分にできることを見つけ、そして実践していこうとする契機となることが期待される。</p>	<p>【導入】P154 を活用し、ボランティア活動についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P155 を活用し、『ちひろの思い』で学んだことをもとに、自分のできるボランティア活動について考えさせる。</p> <p>【発展】P155 を活用し、『ちひろの思い』で学んだことをもとに、自分のできるボランティア活動を実行し、活動した感想をまとめさせる。</p>
【私たちの道徳】小川笙船【主題名／自分の役割を自覚して】〈よりよい学校生活, 集団生活の充実〉				
11月				<p>【導入】P140 を活用し、一人一人の役割と責任についての関心をもたせる。</p> <p>【終末】P144・P145 を活用し、『小川笙船』で学んだことをもとに、役割と責任について考えを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
26. わたしたちの町って【主題名／自分の町の再発見】〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉				
12月	<p>◎郷土やわが国の文化や伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>*資料から、自分の住んでいる町や地域のよさを見つめ直そうとする気持ちをもつ。</p> <p>*町や地域について、それぞれのもつ情報を交換し合うことで町のよさがわかる。</p> <p>*先人の努力を知り、愛着がある住んでいる町や地域を大切にしようとする気持ちをもつ。</p>	<p>1 資料『わたしたちの町って』を読み、主人公の気持ちの変化について考える。</p> <p>2 P109の「わたしたちの町は」に記入し、自分たちの住んでいる町の特長についてまとめる。</p> <p>3 自分たちが大切にしていきたいと思う町のよさはどのようなことかについて話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『わたしたちの町って』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②総合的な学習の時間……自分たちの町について、それぞれテーマを決めて調査をし、新しく発見したことを発表し合わせる。</p>	<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統や文化や自分のふるさどについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用し、『わたしたちの町って』で学んだことをもとに、ふるさどのよさや日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p>

【私たちの道徳】人間をつくる道—剣道—【主題名／郷土や国を愛する心】〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉

12月				<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統や文化や自分のふるさどについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用し、『人間をつくる道』で学んだことをもとに、ふるさどのよさや日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p>
-----	--	--	--	--

27. 自然を守るエゾリス【主題名／自然のしくみ】〈自然愛護〉

12月	<p>◎自然が果たしてくれている役割について理解を深めるとともに、自然環境を守るために自分も積極的に自然にかかわろうとする。</p> <p>*自然のしくみについての理解を深めることで、自然を大切にしようという気持ちをもつ。</p> <p>*自然の大切さがわかり、身近な自然に対して自分はどうにかかわればよいかの意識を新たににする。</p> <p>*地球環境を守るために、自分にできることをしようという意欲をもつ。</p>	<p>1 人と動植物とのよいかかわりについて話し合う。</p> <p>2 資料『自然を守るエゾリス』を読んで、エゾリスと自然とのかかわりや自分の自然に対する認識の変化について話し合う。</p> <p>3 自然界の一員としての自分のあり方をまとめさせる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『自然を守るエゾリス』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②総合的な学習の時間……身近な自然を調べ、かかわりのしくみをまとめさせる。</p> <p>③家庭生活……家庭と連携をとり、生活排水の流し方やゴミの分別、リサイクル商品の活用など、環境問題を意識した家庭生活を推進する。</p>	<p>【導入】P110を活用し、自然と人間の生活のかかわりについて関心をもたせる。</p> <p>【終末】P111を活用し、『自然を守るエゾリス』で学んだことをもとに、自然に対して自分たちができることを考えさせる。</p> <p>【発展①】P112を活用し、「自然」についての考えや関心を広げさせる。</p> <p>【発展②】P113を活用し、自然を愛した偉人の業績に関心をもたせる。</p>
-----	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
28. 学校紹介のホームページ〔主題名／わたしたちの学校〕〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉				
1 月	<p>◎先生や学校の人々が支えてくれている自分たちの学校生活に誇りをもち、みんなで協力してよい学校にしていこうとする。</p> <p>*先生や学校の人々が支えてくれているから、自分たちの学校生活があることがわかる。</p> <p>*自分たちも力を合わせて、学校をよりよいものに行っていることに気づく。</p> <p>*自分たちの学校のよいところを見つけ、みんなで協力して学校をよくしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校生活のできごとを例に出して、先生たち・学校の人々・子どもたちのようすを話し合う。</li> <li>2 資料『学校紹介のホームページ』を読んで、学校をよくすることについて考える。</li> <li>3 自分の学校のよいところを紹介するポスターをデザインする。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①道徳の授業……資料『学校紹介のホームページ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</li> <li>②日常生活……学校をよくしていくため、行事や委員会活動などに積極的に参加させる。</li> <li>③総合的な学習の時間……学校をよくするために工夫したりがんばったりしている「先生・学校の人々・子どもたち」を紹介するポスターを作らせる。</li> </ol>	<p>【展開後段】P160・P161 を活用し、『学校紹介のホームページ』で学んだことをもとに、自分の学校のよさについて考えさせる。</p> <p>【終末】P162・P163 を活用し、『学校紹介のホームページ』で学んだことをもとによりよい校風を作るにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展】P163 を活用し、学校をよくするためにできることを実行し、振り返りをさせる。</p>

29. 「持ち味」を生かして〔主題名／たがいのちがいを大切に〕〈友情，信頼〉

1 月	<p>◎異性であるために特別な見方をもって相手を見ていた自分に気づき、男女が互いに尊重し合いながら持ち味を生かしていこうとする。</p> <p>*性に対する偏見が自分にもあることに気づいたうえで、女子・男子にはそれぞれの持ち味があること、また男子・女子には同じところがあることがわかる。</p> <p>*互いの持ち味を生かして、よい関係ができるにはどのようにしたらよいかを考え、実行していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「女だから○○○はだめ」、「男だから○○○しなさい」などと言われたことを思い出して書く。</li> <li>2 その経験は、どんなときに言われて、そのとき、どんな気持ちになったのかを思い出して書く。</li> <li>3 「男女それぞれの持ち味」と思うところ、「一人一人の持ち味だな」と思うところを書き、それについての自分の考えを発表して、検討する。</li> <li>4 互いの持ち味を生かして、よい関係ができるにはどのようにしたらよいかを考え、ノートに書く。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①道徳の授業……資料『「持ち味」生かして』をもとに話し合わせる。〔本時〕</li> <li>②「朝の会」など……互いの持ち味を生かして、よい関係をつくっていると思うことをさがして紹介し合わせる。</li> </ol>	<p>【展開後段】P75 を活用し、『「持ち味」生かして』で学んだことをもとに考えをまとめさせる。</p>
--------	--	---	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
30. 救急車〔主題名／守られるべきこと〕〈規則の尊重〉				
2月	<p>◎自分の権利と同様、他者の権利を大切にするという義務を理解し、進んでお互いの権利を尊重しようとする心をもつ。</p> <p>*救急車などの公共物を自分勝手な使い方をすると、必要としている人に迷惑がかかることを知る。</p> <p>*自分だけでなく、他人の権利も尊重しなければならないことに気づく。</p> <p>*日常生活の中で、互いの権利を尊重していこうとする。</p>	<p>1 救急車は何のためにあるのかを考える。</p> <p>2 資料『救急車』を読み、互いの権利を守るとはどういうことかを考える。</p> <p>3 自分の権利と同じように、みんなの権利を考える必要があるのはどんなことがあるのかを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『救急車』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動など…自分や他人の権利が守られていることにはどんなことがあるかをさがして、発表し合わせる。</p>	<p>【導入】P120・P121を活用し、よりよい社会づくりへの関心をもたせる。</p> <p>【終末】P124・P125を活用し、『救急車』で学んだことをもとに、権利と義務について考えを広げさせる。</p>
【私たちの道徳】きまりは何のために〔主題名／法やきまりを守って〕〈規則の尊重〉				
2月				<p>【導入】P120・P121を活用し、よりよい社会づくりへの関心をもたせる。</p> <p>【終末】P124・P125を活用し、『きまりは何のために』で学んだことをもとに、権利と義務について考えを広げさせる。</p>
31. 富士観測所をつくるために〔主題名／目標にむかって〕〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
2月	<p>◎より高い目標をもって、自分の持っている力を精一杯働かせて生きることの素晴らしさがわかり、そのような生き方に心を動かし、自分もそのような生き方をしようとする。</p> <p>*人々のためになる目標をもち、自分の持っている力を精一杯発揮して生きていくことの素晴らしさに感動することができる。</p> <p>*ものごとをなすとげするには、目的意識・やる気(生き甲斐)・準備する力・ねばり強い実行力・人々の協力を仰ぐ力・人々の協力等が大切であることがわかる。</p> <p>*自分のもっている目標を見直すとともに、その目標をなすとげるためには、自分はどうな力を発揮したらよいかを考え、実行しようとする。</p>	<p>1 自分が立てている目標について話し合う。</p> <p>2 資料『富士観測所をつくるために』を読んで話し合う。</p> <p>3 野中到のように、高い目標を立て、自分の持っている力を総動員して目標を達成した人にはどんな人がいるかについて話し合う。</p> <p>4 この学習で学んだことをまとめ、自分が立てている目標ややりとげの方法について見直そうという課題について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『富士観測所をつくるために』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分が立てている目標を見直し、新しい決意で、目標達成のために生活していこうとする。</p>	<p>【発展①】P20を活用し、目標に向かって努力した人たちを知り、関心をもたせる。</p> <p>【発展②】P26・P27を読み、夢に向かって粘り強く努力する大切さについて考えさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】ヘレンとともに―アニー・サリバン―【主題名／希望と勇気をもってくじげずに】〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
2 月				<p>【発展①】P20 を活用し、目標に向かって努力した人たちを知り、関心をもたせる。</p> <p>【発展②】P26・P27 を読み、夢に向かって粘り強く努力する大切さについて考えさせる。</p>

32. 心の管理人【主題名／心の管理人】〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉

2 月	<p>◎自由を大切に、規律ある行動をとろうとする。</p> <p>*自由というのは好き勝手にしてよいということではなく、自己管理（規律）が伴うものであることに気づく。</p> <p>*そのような自由があるからこそ、みんながよりよい生活ができることがわかる。</p> <p>*自分の心に規律をつくり、それをもとにした自由な発想をして行動しようとする。</p>	<p>1 自由の概念を出し合う。</p> <p>2 資料『心の管理人』を読み、3つの場面について状況を把握する。</p> <p>3 どの場面がいちばん自由かについて話し合う。</p> <p>4 どの場面がいちばん気分がよいかについて話し合う。</p> <p>5 「心の管理人」とはどのような意味なのかを考える。</p> <p>6 自己責任という言葉について考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『心の管理人』を読んで、場面ごとの検討をさせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「自由」に行動することを求められる場面を想起し、その場面場面でどのような行動がふさわしいのか、考えを分かち合わせる。</p> <p>③朝の会など……「自由に〇〇しなさい」という指示に対し、どのように行動したか、それによってどのような成果が得られたか、友達はどのように感じたかなどを言葉に表し、それをもとに標語を作らせる。</p>	<p>【導入】P28～P31 を活用し、自由と責任とは何か考えさせる。</p>
--------	--	--	--	---

【私たちの道徳】うばわれた自由【主題名／自律的で責任ある行動を】〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉

2 月				<p>【導入】P28～P31 を活用し、自由と責任とは何か考えさせる。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
33. セルフジャッジ〔主題名／セルフジャッジ〕〈規則の尊重〉				
2月	<p>◎法やきまりの意味を知り、自分たちの生活をよりよくするためにきまりを守ろうとする。</p> <p>*きまりがあることによって自分たちの生活が暮らしやすくなるように保たれていることがわかる。</p> <p>*きまりを守ることは他者のためだけではなく、自分自身に返ってくるということがわかる。</p> <p>*自分自身の行動は、規則で治めるよりも、自分の心で治めることが大切であることに気づき、行動に移そうとする。</p>	<p>1 きまりは何のためにあるのかについて考える。</p> <p>2 資料『セルフジャッジ』を読み、話し合う。</p> <p>3 ルールにしばられない社会の「もと」について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『セルフジャッジ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……学校、家庭、地域の中のきまりにはどのようなものがあるかについて調べたり実践したりさせる。そこから自覚や問題意識を喚起させる。</p> <p>③休み時間など…学級全体で取り組むレクリエーション大会などを開き、ルールの確認や修正を行い、合意形成したうえでセルフジャッジでゲームを進めさせてみる。</p>	<p>【導入】P122を活用し、きまりはなぜあるのか考えさせる。</p> <p>【終末】P122～P123を活用し、『セルフジャッジ』で学んだことをもとに、きまりやマナーを守ることの大切さについて考えさせる。</p>

【私たちの道徳】きまりは何のために〔主題名／法やきまりを守って〕〈規則の尊重〉

2月				<p>【導入】P122を活用し、きまりはなぜあるのか考えさせる。</p> <p>【終末】P122～P123を活用し、『きまりは何のために』で学んだことをもとに、きまりやマナーを守ることの大切さについて考えさせる。</p>
----	--	--	--	--

**重点主題**

34 命をかけて命を守る —山岳警備隊—

35 生きる力を引き出す笑い

▶ 重点主題名／支え合う命〔自他の生命を尊重する〕

【重点主題のねらい】

◎自分の命がたくさんの人たちに支えられている命であることがわかり、自分も周囲の人と支え合い、高め合って生きようという気持ちをもつ。

\*命はかけがえのないものであり、命を支える人たちの思いがわかる。

\*自分の中にも「生きようとする力」があることに気づき、笑顔で支え合い、高め合って、自分の命も輝かせようとする。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

34. 命をかけて命を守る 一山岳警備隊―〔主題名／大切な命を守る〕〈生命の尊さ / 勤労, 公共の精神〉

3月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の命をかけてまでも遭難者の命を助けようとする横山さんの生き方に感動する。</li> <li>○自分の命が周囲の人たちに支えられた、かけがえのないものであることに気づき、支えられている命を大切にしようとする気持ちをもつ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 命を守る仕事にはどのようなものがあるかを発表する。</li> <li>2 資料『命をかけて命を守る』を読み、横山さんの仕事への思いを考える。</li> <li>3 自分たちの周囲にも命を支えている人たちがいることに気づかせる。</li> <li>4 学習をふりかえって、考えたことをワークシートに書き、発表する。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>横山隊員の遭難者を何とか助けたいという思いと必死の努力をする姿から、命のかけがえのなさに気づかせる。さらに、まわりには、自分の命を支えてくれた人たちがおり、今ここに生きているのは周囲の支えもあることに気づかせることができる。</p>	<p>【終末】 P98 を活用し、『命をかけて命を守る』で学んだことをもとに、限りある命の大切さについて考えさせる。</p> <p>【発展】 P99 を活用し、命の大切さに関連した行為の物語があることを教え、同様の話に関心をもたせる。</p>
----	---	--	--	---

35. 生きる力を引き出す笑い〔主題名／自分の生きる力を信じて〕〈生命の尊さ / 正直, 誠実〉

3月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「笑い療法士」の活動とお母さんの言葉から、自分の中に「生きようとする力」があることがわかる。</li> <li>○自分にもある「生きようとする力」に気づき、お互いに支え合い、笑顔で自分たちの命を輝かせようとする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時で学習した「命を支える人たち」はどのような人たちだったかを発表し合う。</li> <li>2 資料『生きる力を引き出す笑い』を読み、自分の中にある力について考える。</li> <li>3 お互いの生きる力を引き出し合うことができるようにするにはどうしたらいいかを話し合う。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>笑いによって一人一人にある生きようとする力を引き出す「笑い療法士」の活動と「お母さん」の言葉から、自分たちも笑顔で支え合い高め合うことによって命をより輝かせようとする気持ちをもたせることができる。</p>	<p>【終末】 P100～P101 を活用し、『生きる力を引き出す笑い』で学んだことをもとに、限りある命を輝かせようとする気持ちをもたせる。</p> <p>【発展】 P102～P103 を活用し、自分の命を見つめる活動をさせる。</p>
----	--	--	--	--

【私たちの道徳】 その思いを受けついで〔主題名／自他の生命を尊重して〕〈生命の尊さ〉

3月				<p>【導入前】 P102 を活用し、家族に取材させる。</p> <p>【導入】 P98 を活用し、自分の命について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】 P103 を活用し、自分の成長をまとめさせる。</p> <p>【終末】 P100・P101 を活用し、『その思いを受けついで』で学んだことをもとに、生命についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】 P108・P109 『命でんこ』を活用して、「生命」についての考えを広げさせる。</p>
----	--	--	--	--